



新しい朝

府中市立府中第十中学校

学校だより No.16

平成30年3月19日

『3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます』

副校長 関 勝志

あっという間の三年間、でも、思い出がぎっしり詰まった三年間だったことでしょう。きっと十中の広い廊下でもいろいろなことが…

3年生のみなさんのことはこの一年間のことしか知りませんが、4月の最初から、元気よく大きな声で「明るい挨拶」を率先して実行していたのが3年生でした。さらに、運動会を経て最上級生としての自覚が高まったように感じました。昼休みに校庭で元気に遊ぶ姿、部活動でひたむきにプレーする姿、表情豊かに体全体で表現しながら歌う姿、朝礼で整然と整列する姿、どれも後輩の手本となっていました。尊敬すべき3年生の姿がそこにはありました。

先日の音楽祭。1年生は驚くほどよく声が出ていました。来年、再来年が楽しみです。2年生はハーモニーや強弱に工夫が感じられ、表現豊かな合唱でした。そして、3年生。インフルエンザの影響で万全ではなかったと思いますが、それでも3年生の合唱は、クラス合唱も、学年合唱も圧巻でした。どりーむホールが感動に包まれました。

ところで、みなさんは『群青』という合唱曲を知っているでしょうか。この曲は、東日本大震災の影響で心を痛め、音楽の授業で声の出なくなった福島県南相馬市立小高中学校の生徒たちのために、音楽の先生が生徒たちの日記や言葉を歌詞にして作った曲です。その一節に『あたりまえが幸せと知った』という歌詞があります。自分の周りにあるたくさんのあたりまえに感謝することができたら、きっとよい人生になることでしょう。

楽しく三年間を過ごした人もいれば、不安が多くてあまり登校できなかつた人もいます。しかし、それぞれに努力があったのだと思います。目に見える努力があれば、目に見えない努力もあります。そして、努力があれば必ず成長があります。中学生として、自分と向き合い、今と将来を考え、いろいろな人たちと係わりながら、「精一杯三年間を生きた」ということについては皆同じです。胸を張って卒業してほしいと思います。

さて、3年生の皆さんはそれぞれの個人切符をしっかりとつかみ、それぞれの未来へ向かって、十中を巣立っていきます。そして、それは義務教育の終了であり、自立への大きな一歩を踏み出すこととなります。十中で過ごした三年間に、教科の学習はもちろんのこと、礼儀、思いやり、責任、協力、判断力、感謝など、大切なことをたくさん学んできました。また、仲間と共に喜び、悲しみ、笑い、喧嘩し、また、たくさんの壁にぶつかりながらも、その中で自分というものを探し、確かめてきたことでしょう。そして、それを糧として、これからの人生の中で、自分をしっかりともち、自分なりの、自分だけの生き方を見つけてほしいと思います。誰かと同じ人生を歩むなんてことは絶対にあり得ません。時として、他人の人生がうらやましく思えたり、自分の人生が嫌になったりすることがあるかもしれません。でも、「人生楽ありゃ苦もあるさ」です。だからこそ、人生は生き甲斐があるのです。必死になって頑張らなければならない時があれば、心と体を休めた方がいい時もあります。また、人生には転機（ターニングポイント）もあります。焦らず、くさらず、あきらめず、一生懸命に生きてみることです。きっと自分の人生も捨てたもんじゃないと思える日が来ます。

自分の道を信じて…



■□ 表彰 ■□

◆ 体育優良生徒（東京都体育協会・東京都中学校体育連盟）

小牧 音雄 くん 神田 遥音 さん

⇒日常生活において率先して体育・スポーツ活動を実践するとともに、生活態度、学習態度、体育的技能、スポーツ精神に秀で、模範となる生徒が表彰されます。

◆ 産業教育奨励賞（東京都産業教育振興会）

柘田 基依 くん 毛塚 彩心 さん

⇒学校生活全般において意欲的に活動し、特に産業に関わる教科である技術・家庭科で優良な成績を収めた生徒が表彰されます。

■□ 特別委員会 ■□

十中の特色ある活動の一つに特別委員会があります。十中のPTA会長をされていた松本良幸さんの畑をお借りして栽培した野菜を販売し、収益金を地域貢献に役立てる活動をしています。

今年度は、鳳仙寮に介護用品、西府文化センターにおもちゃを寄贈しました。

社会福祉法人西和会様から感謝状をいただきました。

【鳳仙寮への寄贈品】車椅子、

介護用自助食器（持ちやすい、食材がすくいやすい、安定感がある）

【西府文化センター】読みたくなる絵本スタンド、ふわふわハウス

光どうぶつドレミ隊、はだしのバランスボード、マグ・フォーマー



この貴重な活動は今後も継続していきたいと考えています。きちんと生徒会のボランティア活動として位置付け、名称についても検討中です。

〈西府文化センター贈呈式〉

■□ 部活動 ■□

【バドミントン部】 調布・狛江・府中地区バドミントン研修大会 1年生大会男子ダブルス3位
1年 中平亘くん・中村悠真くん

【バスケットボール部】 府中市中学校春季バスケットボール大会（1年生大会）
男子2位 女子3位

■□ ボランティア活動 ■□

3/6（火）～9（金）の4日間、五小で朝の挨拶運動を行いました。今年度、校外でのボランティア活動は6回実施しました。参加した延べ人数は129名です。3回以上参加した人数は13名です。生徒会長の杉田さんはパーフェクトでした。

みなさん、お疲れ様でした。ありがとうございました。

〈ボランティア優良生徒〉

1年：渡部崙山くん、折橋佑菜さん、二瓶遥さん、橋本渚央さん、松橋愛さん

2年：高桑空輝くん、高橋竜輝くん、杉田京さん、高橋咲耶さん、田辺愛美さん、山本晴菜さん

3年：小沼明乃くん、續木美乃さん

■□ 音楽祭 ■□

先日の音楽祭には、358名の保護者や地域の皆様にご来場いただきました。また、100枚を超えるご感想やご意見をいただきました。心より感謝申し上げます。

ご感想、ご意見の一部をご紹介します。



- ◆素晴らしい音楽祭でした。先生方、本当に本当にありがとうございました。息子も中学校生活に区切りをつけ、4月からの第一歩を今日の音楽祭を胸に、前をむいて進んでいけそうです。これからの人生にむけてのプレゼントをもらったような、そんな音楽祭でした。(3年)
- ◆我が子が1年生の時、3年生を見て感動しました。今回3年生になって、負けず劣らず素晴らしい歌声で立派な3年生としての姿を後輩の1、2年生に見せられたと思います。3年生が一体となって歌った学年曲は3曲ともとっても良かったです！ 感動しました。ご指導いただきました先生方、本当にありがとうございました。(3年)
- ◆最後の音楽祭、心に残るものでした。毎年来ていましたが、毎年新しく気づくことがあり、子どもの成長を感じると共に、親としてのささやかな成長を感じる場でもありました。今後も十中が素晴らしい学びの場であるように心から願っています。(3年)
- ◆日頃、家で練習していた成果をみることができ、とても感動しました。先生方の歌声もステキでした。(2年)
- ◆曲間の語りが毎回楽しみです。学年が上がるにつれて上手くなってきて、また、自分が学生の人に歌って知っている曲も多いので、楽しく聴くことができます。ホールなので舞台が見えにくい席がなく、時間ギリギリに行ってもよく見えるのが、忙しい保護者にはとてもよいと思います。ありがとうございました。(2年)
- ◆年々よい舞台になっていて、見応え、聴き応えがありました。合唱のみならず、せりふや伴奏、司会もきちんと練習されていて、さすがと思いました。大きなホールいっぱい全員の声が響いて、とてもよい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。(2年)
- ◆音楽祭は、十中の行事の中でも、とても楽しみにしているもののひとつです。一年生の初々しい感じと二年生の少しはにかんだ表情、そして三年生の迫力と豊かな歌声、見ている私たちも感動させてもらいます。思い出に残る一日になります。指導して頂いた先生方にも、言葉にできない感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました！(1年)
- ◆今日は音楽祭に参加させていただきありがとうございました。この数ヶ月間、音楽祭に向けて家でも一生懸命練習にはげんできました。多くの友人たちと先輩方とつむぐハーモニーに感動を共有できたと思います。語りやBGMもとても素敵でしたし、大変素晴らしい歌声だったと思います。インフルエンザ等大変な中、たくさんご心配をおかけしたと思います。先生方ありがとうございました。(1年)
- ◆今年が初めての音楽祭でしたが、十中の合唱は素晴らしかったです。クラスはクラスごとのカラーが出て、学年になるとまとまりがあり、すごい迫力でした。合唱の前にそれぞれのクラスの特徴や想いを伝えるのも楽しく〈語り〉で卒業生や友達に気持ちを伝えるもの素敵だと思いました。先生方のアカペラも良かったです。(1年)
- ◆10中の全校曲に「新しい朝」が加わった時の中3です。初めて楽譜をもらった時、歌える人が誰もいずに、皆で譜読みしたのが懐かしいです、やっぱり3年生になると音の迫力が違いますね。流石3年生でした。1、2年生のアルトはソプラノと男声に挟まれてちょっと弱く聴こえました。メロディラインも大事ですが、「ハモリ」を大事に練習してほしいです。(卒業生)
- ◆どのクラス、学年も今日の日の為に心をつにして練習してきたのがとても伝わり感動しました。この経験を生かして、これからの学校生活でも、大きくたくましく成長して行ってほしいと思います。本日は素敵な歌声と立派な姿をありがとうございました。

■□ 平昌オリンピック・パラリンピック ■□

平昌オリンピック・パラリンピックは、アルペンスキーの村岡桃佳選手が全種目5つ目のメダルを獲得して幕を閉じました。どちらも日本人選手の活躍が目立った大会でした。生徒の関心の度合いは右表の通りでした。

	平昌オリンピック	平昌パラリンピック	東京オリンピック
とても関心がある	30%	15%	54%
少し関心がある	43%	44%	39%
あまり関心がない	14%	24%	8%
関心がない	13%	17%	8%

怪我から奇跡の復活で金メダルを獲ったフィギュアスケート羽生結弦選手や史上最多8回目のオリンピック出場を果たしたスキージャンプ葛西紀明選手、4年前のソチオリンピックで優勝候補として期待されながらも4位の口惜しさに負けず努力し銅メダルを獲った高梨沙羅選手とそのメダルを自分のことのように喜んでいて伊藤有希選手、笑顔と「そだね～」で話題になったカーリング女子日本代表チームなど、心に残る選手や場面がたくさんありました。生徒の印象に残ったのは、何と言ってもフィギュアスケートの羽生結弦選手（142票）でした。続いてカーリング女子（128票）、他は、スピードスケートの小平奈緒選手、高木美帆・葉那選手、フィギュアスケートの宇野昌磨選手、スノーボードの平野歩夢選手でした。

2年後の東京オリンピック・パラリンピック 2020 が楽しみです。

東京都の公立学校に在籍する皆さんへ

自分を大切に 友達を大切に

○あなたは、とても大切な存在です

あなたには、あなたにしかない素晴らしい、輝く個性があります。

あなたは、この世界中でただ一人のかけがえのない、とても大切な存在なのです。

○信頼できる大人は、身近に必ずいます

誰にも、不安や悩みがあっても、つらい思いをすることがあると思います。

あなたのつらい思いを受け止めてくれる信頼できる大人は、身近に必ずいます。

どうか、つらい思いをして苦しい時や、体の調子がおかしいという時は、一人で悩みを抱えないでください。

家族、学校の先生、スクールカウンセラー、地域の方など、あなたを助けてくれる誰かが絶対にはいます。だから、相談しやすいと思う大人に、少しでも勇気を出して話してみてください。相談機関に、電話やメールなどで相談するという方法もあります。

悩みを打ち明けるといことは、決して恥ずかしいことではありません。あなたが弱いということでもありません。誰かに相談すること、助けを求めることは、自分を大切にしている行動です。

○もし、友達がつらそうにしていたら

あなたの隣にいる友達も、かけがえのない大切な存在です。

もし、友達がつらそうにしていたら「どうしたの？」などと言葉をかけて、友達の話をも、よく聞いてあげてください。

そして、友達の気持ちが落ち着いたら、信頼できる大人と一緒に探しましょう。

もし、「誰にも言わないで。」と言われたら、「自分たちだけでは解決できないから、一緒に誰かに相談しよう。」と伝えて、信頼できる大人のところと一緒にいってあげましょう。

どうか、一人で悩みを抱えないでください。

少しでも勇気を出して、身近にいる大人に話してみてください。

あなたの思いを受け止めてくれる信頼できる大人は必ずいます。

【電話相談先】

東京都いじめ相談ホットライン ☎0120-53-8288

24時間受付（いじめ以外の相談もできます。）

平成30年 2月

東京都教育委員会